

科目名	コンピューターシステム I A						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	北島 仁宇、毛利 俊司、前園 勝稔		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	IT企業のエンジニアとして勤務		
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年						
授業概要	経済産業省主催 基本情報技術者試験の出題範囲に準拠し、IT人材として必要な基礎知識のうち、情報の基礎理論やハードウェア・ソフトウェア等に関する知識及びセキュリティに関する知識を学ぶ。基礎的な用語や考え方について体系的に学習し、演習問題を活用して知識の習熟を高める。 iCDタスクコード 該当なし						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ハードウェアソフトウェア分野の用語について説明できる	
	○					セキュリティ分野の用語について説明できる	
	○	○				表や文章に書かれている情報を元に計算式を導き出すことができる	
テキスト・教材 参考図書	情報処理試験合格へのパスポート コンピュータ概論(ウイネット):ハードウェア・ソフトウェア分野 情報処理試験合格へのパスポート システム開発技術(ウイネット):セキュリティ分野 基本情報技術者試験 午前免除試験問題(麻生情報ビジネス専門学校)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1-5	基礎理論1(基数変換)			テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)		
	6-11	基礎理論2 / 授業評価テスト			テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)		
	12-15	ハードウェア			テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)		
	16-20	システムの構成要素			テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)		
	21-22	ソフトウェア			テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)		
	23	マルチメディア・AI / 授業評価テスト			テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)		
	24-26	情報セキュリティ、攻撃手法			テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)		
	27-29	情報セキュリティ・暗号化技術			テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)		
	30-32	情報セキュリティ・認証技術、セキュリティ技術			テキストの該当範囲を事前に読み、わからない用語を調べておくこと(1時間)		
	33	情報セキュリティ・リスク、管理 / 授業評価テスト			前回までの授業で分からなかった点をまとめておくこと(1時間)		
	34-45	午後対策			前回までの授業で分からなかった点をまとめておくこと(1時間)		
	評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)授業の中で授業内評価テストを3回実施する (3)受講状況を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験		◎	◎				50%
授業内評価テスト		◎	◎		○		40%
受講状況					◎		10%
履修上の注意							

科目名	コンピューターシステムⅡA					
科目名(英)						
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	小淵 洋子、奥野 広成、北島 仁宇、前園 勝稔	
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	IT企業のエンジニアとして勤務	
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年					
授業概要	<p>経済産業省主催 基本情報技術者試験の出題範囲に準拠し、IT人材として必要な基礎知識のうちデータベース・システム開発・ストラテジ/マネジメント分野に関する知識を学ぶ。 基礎的な用語や考え方について体系的に学習し、演習問題を活用して習熟を図る。</p> <p>iCDタスクコード DV05.1.1～DV05.1.4, DV05.2.1～DV05.2.3 SP05.19.1～SP05.19.2, SP05.20.1～SP05.20.2</p>					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					データベースおよびシステム開発分野の用語について説明できる
	○	○				SQL文を理解し、記述されたSQL文の正しい実行結果を予測・選択できる
	○	○				データベース設計の手順を応用し、システム要件に則った設計を行うことができる
	○					ストラテジ/マネジメントに関する用語について説明できる
テキスト・教材 参考図書	<p>情報処理試験合格へのパスポート システム開発技術(ウイネット) 情報処理試験合格へのパスポート マネジメントと情報化(ウイネット) 基本情報技術者試験 午前免除試験問題(麻生情報ビジネス専門学校)</p>					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1 2	【データベース/開発】データのモデル化、関係データベース、正規化				
	3	【ストラテジ/マネジメント】プロジェクトマネジメント				
	4 5	【データベース/開発】SQL(テーブル作成、データ抽出)				
	6	【ストラテジ/マネジメント】サービスマネジメント				
	7 8	【データベース/開発】授業内評価テスト(データベース設計)、SQL(データ抽出・操作)			授業内容に係る授業内評価テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	9	【ストラテジ/マネジメント】システム監査、システム戦略				
	10 11	【データベース/開発】SQLの応用、集合演算				
	12	【ストラテジ/マネジメント】情報システムの活用、システム企画				
	13 14	【データベース/開発】DBMS、授業内評価テスト(SQL)			授業内容に係る授業内評価テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	15	【ストラテジ/マネジメント】企業活動、経営戦略手法				
	16 17	【データベース/開発】保全機能と障害回復、データベースの応用、システム開発とは				
	18	【ストラテジ/マネジメント】マーケティング、技術開発戦略				
	19 20	【データベース/開発】要件定義、開発手法、システム設計				
	21	【ストラテジ/マネジメント】e-ビジネス、企業会計				
	22 23	【データベース/開発】外部設計、内部設計				
	24	【ストラテジ/マネジメント】応用数学・OR・IE				
	25 26	【データベース/開発】オブジェクト指向、プログラミング、テスト手法				
	27	【ストラテジ/マネジメント】法務				
	28 29	【データベース/開発】システム開発復習、授業内評価テスト(システム開発)			授業内容に係る授業内評価テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	30	【ストラテジ/マネジメント】その他法規、標準化				
	31 -33	検定試験問題演習			検定試験対策演習を行うので、復習しておくこと(2時間)	
	34 35	【データベース/開発】SQL応用(正規化、グループ化、副問合せ)				
	36	【データベース/開発】SQL応用演習(正規化、グループ化、副問合せ)				
	37 38	【データベース/開発】SQL応用(ビュー、結合)				
	39	【データベース/開発】SQL応用演習(ビュー、結合、制約)				

	40	【データベース/開発】データベース総復習					
	41						
	42	【データベース/開発】システム開発総復習					
	43						
44	【データベース/開発】データベース総復習						
45							
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)授業の中で授業内評価テストを3回実施する (3)受講状況を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	授業内評価テスト	◎	◎		○		40%
	受講状況				◎		10%
履修上の注意							

科目名	コンピューターシステムⅢA						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	染矢 裕美子、村上 香代		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年						
授業概要	経済産業省主催 基本情報技術者試験の出題範囲に準拠し、IT人材として必要な基礎知識のうち、アルゴリズム分野に関する知識を学ぶ。初心者でも理解できるよう基礎的な用語や考え方について体系的に学習し、演習問題を活用して習熟を図る。プログラミングにつながるトレース力も身につける。 iCDタスクコード DV05.7.3						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				手順書からアルゴリズムの基礎となるフローチャートを書くことができる	
	○	○				基本情報処理技術者試験午後の言語問題および擬似言語問題でトレースができる	
テキスト・教材 参考図書	アルゴリズムとデータ構造(ウイネット)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章 アルゴリズム入門					
	2	第2章 流れ図の基本パターン					
	8	第3章 擬似言語の基本パターン					
	9	第1章～第3章の復習 授業内評価テスト①				授業内容に係る授業内評価テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	11	第4章 計算のアルゴリズム					
	12	第5章 配列					
	13	第4章～第5章の復習 授業内評価テスト②				授業内容に係る授業内評価テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	17	第6章 探索のアルゴリズム					
	18	第7章 整列のアルゴリズム					
	26	第8章 データ構造					
	27	第6章～第8章の復習 授業内評価テスト③				授業内容に係る授業内評価テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	28	総復習					
	31						
	32						
	37						
	38						
41							
42							
43							
45							
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)授業の中で授業内評価テストを3回実施する (3)受講状況を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	授業内評価テスト	◎	◎		○		40%
	受講状況				◎		10%
履修上の注意							

科目名	Webプログラミング演習 I A						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	染矢 裕美子、村上 香代、川野 啓祐		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	IT企業のエンジニアとして勤務		
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年						
授業概要	Webサイトの仕組みやそれぞれの言語がどのように関連しているのかを理解し、Web開発の基礎となるHTML&CSS及びJavaScriptの学習する。また、実際にプログラムを作成することで、言語を問わずプログラムを作成する上で必要な考え方(アルゴリズム)は、どのようなものかを理解する。 iCDタスクコード PL03.3.1~PL03.3.2						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○		○			タイピングがスムーズにできるようになり、プログラムに出てくる英単語へ苦手意識がなくなる	
	○	○				HTML・CSSの違いやルールを理解し、見出しや段落といったよく使うタグを書くことができる	
	○	○				条件文・繰り返し文を用いたJavaScriptプログラムが作成できる	
	○	○				書いてあるプログラムやタグを理解し説明できる	
		○				よく使うタグを使ってホームページを作成することができる	
テキスト・教材 参考図書	教材①:「HTML5+CSS標準テキスト」 技術評論社 教材②:「JavaScriptではじめるプログラミング超入門」 技術評論社						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1-2	HTMLの学習(基礎知識 テキストに意味を付ける)			タイピング練習(10分)		
	3-4	HTMLの学習(画像を表示する、リンクの指定)			タイピング練習(10分)		
	5-6	HTMLの学習(CSSで文字を装飾、リストを作る)			タイピング練習(10分)		
	7-8	HTMLの学習(ページにファイルを埋め込む、テーブルを作成する)			タイピング練習(10分)		
	9-10	HTMLの学習(フォームを作る、カテゴリーとセクション)			タイピング練習(10分) 今までの復習(1時間)		
	11-12	JavaScriptの学習(Javascriptの概要、for文による繰り返し)			タイピング練習(10分)		
	13-14	JavaScriptの学習(変数)			タイピング練習(10分)		
	15-16	JavaScriptの学習(if else文による条件判定)			タイピング練習(10分)		
	17-18	演習課題①			タイピング練習(10分) 今までの復習(1時間)		
	19-20	JavaScriptの学習(多重ループ)			タイピング練習(10分)		
	21-22	JavaScriptの学習(配列)			タイピング練習(10分)		
	23-24	JavaScriptの学習(関数)			タイピング練習(10分)		
	25-26	JavaScriptの学習(その他の制御文)			タイピング練習(10分)		
	27-28	演習課題②			タイピング練習(10分) 今までの復習(1時間)		
	29-30	演習課題③			タイピング練習(10分)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する(2)授業の中で課題を指示する(3)授業の中で理解度を測る確認テストを3回実施する(4)タイピングスキルを評価する(5)受講状況の評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				30%
	課題提出	◎	◎		○		30%
	確認テスト	◎	◎				20%
	タイピング			◎	○		10%
	受講状況				◎		10%
履修上の注意	再試験は実施しない						

科目名	一般教養 I A						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	畠添正和		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年						
授業概要	就職試験でのSPI試験の要素である、国語及び数学に関して、基本をおさえて理解出来るようになる。中間に授業内評価テスト(2回:各30分)及び期末試験を実施し、理解度を把握し、フォローアップする。 iCDタスクコード 該当なし						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					就職試験頻出の漢字、同音異義語、四字熟語の読み書きができる	
	○	○				長文や図表を用いた数学問題で正しい式を考えることができる	
テキスト・教材 参考図書	就職筆記試験対策問題集(ウイネット)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	国語:漢字の読み(1・2) 数学:式と計算(1)					
	2	国語:漢字の読み(3)、漢字の書き取り(1) 数学:式と計算(2)					
	3	国語:漢字の書き取り(2)、同音異義語(1) 数学:速さの基礎				これまでの学習内容で苦手とする項目を確認しておくこと	
	4	授業内評価テスト①(式と計算) 国語:同音異義語(2・3) 数学:旅人算					
	5	国語:同訓音字、語句の意味(1) 数学:通過算					
	6	国語:語句の意味(2)、同意語・類似語 数学:流水算					
	7	国語:反対語、授業内評価テスト対策(今まで学習したことの見直し) 数学:授業内評価テスト対策(今まで学習したことの見直し)				これまでの学習内容で苦手とする項目を確認しておくこと	
	8	授業内評価テスト②(数学:は・じ・き)					
	9	授業内評価テスト①②のフォローアップ 数学:割合の基礎					
	10	国語:四字熟語(1・2) 数学:濃度					
	11	国語:ことわざ(1・2) 数学:損益算					
	12	国語:慣用句・故事成語 数学:順列・確率					
	13	国語:敬語、適語補充 数学:集合					
	14	国語:文章整序、文章読解 数学:推理					
15	総復習				これまでの学習内容で苦手とする分野を確認しておくこと(1時間)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)授業の中で授業内評価テスト(30分)を2回実施する (3)受講状況进行评估する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	授業内評価テスト	◎	◎				30%
	受講状況				○		20%
履修上の注意							

科目名	GCB I						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	前園 勝稔、北島 仁宇、毛利 俊司 小淵 洋子、柴矢 裕美子、村上 香代、川野 啓祐		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年						
授業概要	「感謝と思いやり」「自分のあり方」について講義、DVD、書籍を活用しながら、自ら考え、気づいたり、クラス内で話し合いや発表を行う。感謝と責任感、他者への思いやりを日常生活でカタチとして表現・実践できるようにする。						
	iCDタスクコード 該当なし						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					キャリア実現の鍵は専門能力および発揮できる力(人間)であることを説明できる	
	○	○				感謝心が人間力の根底であることを説明できる	
	○	○				人間力を高めるためのマナーの重要性を説明できる	
テキスト・教材 参考図書	グローバルシティズンベーシック I (麻生塾)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	グローバルシティズンを目指そう					
	2	「協働」の態度を持った学生生活					
	3	よりよい人間関係の構築に向けて～モラル・ルール・マナーの重要性～				グループワークのテーマについて自分の考えをまとめてくること(30分)	
	4	マナーの本質 I					
	5	マナーの本質 II					
	6	グローバルシティズンとしての日常					
	7	グローバルシティズンとしての目標				自分の目標をまとめてくること(30分)	
	8	グローバルシティズンとしての「志」に向けて					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)課題・レポートを数回実施する (2)受講状況を評価する 以下を上記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題・レポート	○	○		◎		80%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	再試験は実施しない。						

科目名	ゼミナール I A						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	前園 勝稔、北島 仁宇、毛利 俊司 小淵 洋子、柴矢 裕美子、村上 番代、川野 啓祐		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年						
授業概要	<p>学校生活を送る上で必要となるマナーやルールを学び、学習を進めるうえで基盤となる力を身につける。複数のメンバーと協力し、チームに貢献できる力を養う。</p> <p>iCDタスクコード 該当なし</p>						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○		○		学校や社会生活において必要なマナーやルールを理解し説明できる	
		○		○		効果的な学習方法を身につけ、習慣的、自律的な学習ができる	
		○		○		友人や教師と友好的にコミュニケーションできる	
				○		チームワークの重要性を理解し、協調的な働きかけができる	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	学校生活理解・・・学生生活規定、履修規定、成績評価規定			学生便覧内の該当する規定を読んでおくこと(30分)		
	2	クラス内コミュニケーション①・・・自己紹介			自己紹介内容を考えておくこと(30分)		
	3	クラス内コミュニケーション②・・・情報共有ゲーム					
	4	効果的な勉強方法について①講義・・・勉強の仕方			活動の振り返りレポートを作成すること(30分)		
	5	効果的な勉強方法について①ワーク・・・勉強の仕方					
	6	効果的な勉強方法について②講義・・・読解の仕方			活動の振り返りレポートを作成すること(30分)		
	7	効果的な勉強方法について②ワーク・・・読解の仕方					
	8	効果的な勉強方法について③講義・・・暗記の仕方			活動の振り返りレポートを作成すること(30分)		
	9	効果的な勉強方法について③ワーク・・・暗記の仕方					
	10	学校生活理解②・・・学校生活充実度調査					
	11	クラス内グループワーク①・・・グループ勉強会			勉強会のアウトプットを作成し提出すること(30分)		
	12	クラス内グループワーク②・・・グループ勉強会			勉強会のアウトプットを作成し提出すること(30分)		
	13	クラス内グループワーク③・・・グループ勉強会			勉強会のアウトプットを作成し提出すること(30分)		
	14	クラス内グループワーク④・・・グループ勉強会			勉強会のアウトプットを作成し提出すること(30分)		
15	学校生活理解③・・・今後の取得検定目標の設定			今後の検定受験計画を立て、レポートを作成すること(30分)			
評価方法	(1)課題レポートの提出状況进行评估する (2)受講状況を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題レポート		○		◎		80%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	再試験は実施しない。						

科目名	ビジネスソフトウェア演習 I A							
科目名(英)								
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	河野明子・西原友紀			
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験				
対象学科・学年	情報システム科・情報システム専攻科・情報工学科 1年							
授業概要	Excelを使用して、関数を含む表や表を基にしたグラフを作成する。 基本情報技術者試験の表計算問題に出題される関数の使い方を学習する。 iCDタスクコード 該当なし							
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
		○	○			Windowsの画面操作、文字入力ができる		
		○	○			Excelを使って表計算、計算式や関数の設定、グラフ作成ができる		
		○	○			基本情報技術者試験の表計算問題で出題される検索関数や論理関数を用いた式を理解できる		
テキスト・教材 参考図書	よくわかる Microsoft Word 2019& Microsoft Excel 2019 & Microsoft PowerPoint 2019 (FOM出版) 基本情報技術者試験対策 表計算テキスト(ウイネット)							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	Windowsについて、ウィンドウ操作、入力・変換、タイピング						
	2	入力・変換・IME使用方法、ファイルの管理、Excel基本操作						
	3	第5章_Excelの基礎知識／第6章_データの入力／第7章_表の作成(書式)				宿題・レポート提出(1)		
	4	第7章_表作成(関数)／第8章_グラフ作成				宿題・レポート提出(2)		
	5	第9章_データ分析				宿題・レポート提出(3)		
	6	Excel 練習問題(総復習)				宿題・レポート提出(4)		
	7	Excel 練習問題(総復習) / Excel実技試験				授業内評価テスト(実技)は30分間とする		
	8	表計算問題 CHAPTER2 関数①IF、COUNTA、SUMIF				確認テスト(1)		
	9	表計算問題 CHAPTER2 関数②INT、MOD、AND、OR				宿題・レポート提出(5)		
	10	表計算問題 CHAPTER2 関数③ CONCAT,RANK,VLOOKUP,HLOOKUP,LOOKUP				確認テスト(2)		
	11	表計算問題 CHAPTER2 関数④INDEX,MATCH				宿題・レポート提出(6)		
	12	表計算問題 CHAPTER2 関数演習①IF,COUNTA,SUMIF、ROUNDUP				確認テスト(3)		
	13	表計算問題 CHAPTER3 関数演習②INT,MOD,AND,OR				宿題・レポート提出(7)		
	14	表計算問題 CHAPTER3 関数演習③ RAND,RANK,VLOOKUP,HLOOK,LOOK,INDEX,MATCH				確認テスト(4)		
	15	表計算問題Excel総合演習(関数) / 表計算問題Excel実技試験				授業内評価テスト(実技)は30分間とする		
評価方法	(1)授業の中で確認テストを4回実施する (2)宿題を7回実施する (3)授業内評価テスト(実技)を2回実施する (4)受講状況を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
		授業内評価テスト(実技)		○	◎			40%
		確認テスト		○	◎			20%
		宿題・レポート		○	◎	○		20%
		受講状況				◎		20%
履修上の注意	宿題・確認テストにおいて期限を守らない場合や基準を満たさない場合は、減点または追加宿題を設ける場合がある。 再試験は実施しない。							